



コード (分野)	11501 (1.防災・安全)
メニュー名	フクロウ先生の森・守塾 (模型やクイズで行う出前授業)
校名(学年)	草津市立老上小学校 第4学年
講師・支援者等	滋賀県琵琶湖環境部森林保全課
学習名	やまのご事前学習 森林の大切さ
教科等	総合的な学習の時間
実施日	令和5年 6月9日 (金)10:30~11:30

《授業の流れ》

テーマ「森林のはたらきとその大切さ」

1 「山」についてイメージを膨らませる。

- ① イメージは？ 山、木、…
- ② すごし方は？ 植物を探す・観る、虫を探す・観る
楽しみ方は？ 木で遊ぶ（木登り等）、キャンプ、…
- ③ 見かける動物は？ 鹿、鳥、虫…

2 「森林のはたらき」について写真や動画を見る。

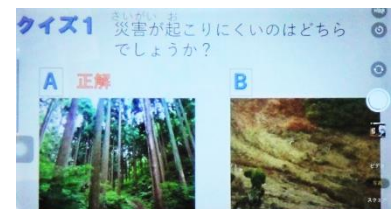
・「防災」について知る

土石流を防ぐダム役割（「がんばれフクロウくん」実験装置の動画）



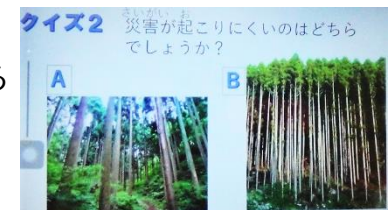
・クイズ1 災害が起こりにくいのはどっち？

- Ⓐ: 木が生えている
B: 木や草が生えていない



・クイズ2 災害が起こりにくいのはどっち？

- Ⓐ: 木が適度な隙間を保ち生えている
B: 木が密集して生えている



滋賀県の昔の土地は、草や木が生えていない土地が多かった。そこで、植樹をして命を守る山づくりに着手した。

生きものの命を、山が守ってくれている。

1本切ったら、30年から50年経たないと育たない。

適当な間隔で生えた木は、太い根を張り巡らせ災害の予防になる。

・「どうすれば太い木の森にできるのか??」

間引き・伐採をして木や草が育ちやすくなることで、山が元気になる。

<間引かれた山＝光が入る＝森が元気＝強い木＝災害に強い>

3 「元気な山のサイクル」について知る。

- ・ 廃材のリユース
- ・ SDGsの推進

→ 「木は山を守り、人を豊かにする」



<感想等>

児童

- ・ 写真や動画を使って説明して下さったので、分かりやすかった。
- ・ 木や草が山を強くすることを初めて知って、驚いた。
- ・ 土石流の動画を見て、その恐ろしさを実感した。
- ・ 木を増やしすぎても、根が張らないので災害につながりやすいと聞いて、意外だった。
- ・ 木はまめに切って、きちんと数を調整しないといけないと初めて知った。



学校

- ・ 災害の映像を実際に見せていただけたのが、児童にとって自分事となり大変良かった。
- ・ 模型を持ってきてくださっていたので、もっと活用していただけるとなお良かった。
- ・ 打ち合わせ時に不備があり、当日、機材トラブルがあったので申し訳なかった。特に、プレゼン資料と機器の互換性等については、事前に試行が必要であった。



支援者・講師

- ・「やまのこ」の事前学習となるよう、「災害に強い山ってどんなところ？」というお話をさせていただきました。
「やまのこ」では、木のお世話をしたり、木を身近に感じてもらったりして、学んだことを活かしてもらいます。
そうした取り組みが山を元気にして、私たち自身を豊かにしてくれることを実際の体験を通して実感してもらえたらうれしいです。

